

第103回 全国高校野球選手権  
**青森大会**

八学野西 3 0 5 1 2 | 11  
 五所商 0 0 0 0 0 | 0  
 (5回コールド)

(八) 立花、沢田—木村  
 (五) 大谷、渡邊、松橋—川島  
 ▷三塁打 川原 (八) ▷二塁打 大平2 (八)  
 大谷 (五) ▷暴投 沢田 (八)  
 ▷試合時間 1時間38分  
 (球審—中村、塁審—蛭名、小松、木下正)

【評】八学野西が攻撃力の高さを見せつけた。初回は川原の2点三塁打と小笠原の適時打で3点先制。三回には打者11人の猛攻で5点を加え、突き放した。主戦立花は毎回の7三振で4回無失点と好投。五所商は打線が散発の3安打と振るわなかった。

五所商・大谷颯（9安打を浴び三回途中降板）「先発としての準備はできていたが、相手の打撃力が上回った。悪いピッチングではなかった」

【八学野西—五所商】4回八学野西2死二塁、大平新稀が左翼線に適時二塁打を放ち、9—0とする＝六戸メイプル



# 野西2戦連続猛打

大平大当たり  
 4安打2打点

八学野西が1回戦に続いて2桁得点と打線が爆発し、3回戦に名乗りを上げた。主戦立花歩夢も先発としてしっかりと試合をつくった。投打ががっちりとかみ合つての勝利に、大平新稀主将は「2試合連続でいい勝ち方ができた。練習の成果だと感じる」と納得の表情を浮かべた。相手先発の直球に的を絞る、初回から一気に攻め立てた。1番大平の左前打を足掛かりに四球を送りバントで好機を拡大。川原登朗の右越え三塁打、小笠原涼の左前適時打で3点先制。三回には先頭の小笠原の中前打を皮切りに打線がつながり、5安打に四球、敵失が絡んで打者11人で一挙5点と、相手を圧倒した。

特に、大平は2二塁打を含め4打数4安打2打点と打線を強力に引っ張った。大平は「出塁することが自分の役割だけれど、4安打はうれしい」とはにかんだ。

大量点を背に、マウンドの立花も躍動。直球とスライダーを組み合わせ、「コースに決められた」と納得のピッチングで4回2安打7三振、無失点。相手に三塁を踏ませなかった。

3回戦の相手は秋の県大会で2本塁打を浴び、1安打に封じられるなど、完敗。だった工大一。大平は「秋のリベンジをする」と気合十分だ。

(向中野一樹)